

2 敷地面積

200,000㎡

3 建物

(1) 管理・研修棟

鉄筋コンクリート2階建て一部平屋

延べ面積 991,310㎡ 昭和50年3月完成

(2) 宿泊棟（収容人員 200名）

鉄筋コンクリート2階建て

延べ面積 1694,58㎡ 昭和50年3月完成

(3) 体育館

鉄筋平屋建て一部2階

延べ面積 731.407㎡ 昭和50年12月完成

(4) 倉庫

鉄筋コンクリートブロック平屋建て

65.9375㎡ 昭和52年3月完成

(5) 車庫

鉄筋コンクリートブロック平屋建て

48.9㎡ 昭和52年3月完成

(6) 自転車置場

鉄骨スレート造り 22.4㎡ 昭和52年3月完成

(7) 職員住宅

所長住宅 職員住宅各1戸 昭和52年12月完成

4 野外活動施設

(1) 野営場

昭和52年3月完成

① 敷地

2,800㎡ 松川浦の見える平坦な自然松林の中の広場

② 建物

ア 野外炊飯場

鉄筋コンクリートブロック、木造平屋建て

1棟 44.15㎡ 水道、調理台、炊飯炉

イ 野外便所

鉄筋コンクリートブロック建て

1棟 26.1㎡ 男女別

③ その他の施設

営火炉（1基） 焼却炉（1基）

(2) つどいの広場

全面舗装 昭和52年12月完成

国旗等掲揚塔

(3) 運動場

松川浦に面した位置に15,850㎡の運動場で一周300m、直線100mの陸上競技用トラックがとれる。

(4) 自然遊歩道、自然観察コース

県立松川浦自然公園内の松川浦と太平洋の間にひろがる砂州地で鶴ノ尾岬までのハイキングコースと大洲地内に自然観察遊歩道を設けている。

(5) オリエンテーリングコース

磯部地区を中心に標高50m～60mの起伏に富んだ山野に固定ポストを設置してあり、初心者、経験者を問わず、さまざまなコースが設定できる。

(6) サイクリングコース

松川浦をめぐる往復10km～15kmのコースを設定し、松川浦の自然観察とともに松川浦と海浜の産業、文化をさぐることができる。

5 その他の主な施設

駐車場 1,100㎡ 昭和52年3月完成

焼却炉（1基）

6 主な備品

(1) 体育的備品

① 屋外

○バレーボール用具（2） ○ソフトボール、野球用具一式 ○サイクリング用自転車（30台）

○オリエンテーリング用シルバークンパス（200）

○救命胴衣（4着） ○救助用ゴムボート（1）

○救助用浮輪

② 屋内

○バスケットボール用具一式 ○卓球台（5台）

○バトミントン用具（2）

③ 野営用具

○テント（6人用20張） ○炊飯用具一式

○寝具類（寝袋、シーツ、マット等 120人分）

(2) 学芸的備品

① 視聴覚教材・教具

・16%映写機 ・スライド映写機 ・スクリーン
・O・H・P（2台） ・4chステレオ ・テープレコーダー（3台）

・ワイヤレスマイク ・トランシーバー ・ポータブルハンドマイク ・ポータブルプレーヤー ・ピアノ ・オルガン ・アコーデオン（1台）

・ギター（3台）

② 自然観察用教材・教具

・天体望遠鏡 ・星座早見盤 ・岩石標本

③ その他

・茶道具一式 ・大工道具 ・図書

第3節 利用状況

海浜青年の家の利用は、5人以上の団体で24時間以上滞在し、自主的な研修プログラムをもち、責任者が明確であればだれでも利用できる。

○在学青少年が学校教育の一環として利用する場合

○勤労青少年が社会教育の一環として利用する場合

○青少年の育成、指導関係者が研修する場合

○青少年団体等の社会教育団体が研修する場合

○県、並びに海浜青年の家の主催事業に参加する場合

本年度の利用総人員は、254団体（前年度 239団体 約6%増）、実研修人員15,964名（前年度13,944名 約15%増）、延べ研修人員41,151名（前年度37,514名 約10%増）であった。

なお、詳細な利用状況は、次のとおりである。